



P46 63

2007.11.6



第一三共株式会社

1.損益計算書推移

(単位：億円)

	2006						2007									
	上半期		下半期		年度実績		上半期実績			下半期予想		年度予想				
		医薬品* 事業合計 (除) 決算期 変更の影響		医薬品* 事業合計 (除) 決算期 変更の影響		医薬品* 事業合計 (除) 決算期 変更の影響	対7月公表	医薬品* 事業合計	(除) 欧州決 算期変更の 影響	対7月公表		対7月公表	医薬品* 事業合計	(除) 欧州決 算期変更の 影響		
前同比	<7.5>		<6.4>		<0.4>	<4.8>	<-8.7>		<4.4>	<-2.6>		<-5.8>		<4.2>	<6.5>	
売上高	4,858	3,958	4,437	3,979	9,295	7,937	4,437	277	4,273	4,132	4,323	113	8,760	390	8,596	8,455
売上原価	1,380	964	1,272	939	2,652	1,902	1,132	132	989	950	1,078	73	2,210	205	2,064	2,028
売上原価率	28.4%	24.3%	28.7%	23.6%	28.5%	24.0%	25.5%		23.1%	23.0%	24.9%		25.2%		24.0%	24.0%
販管費	2,695	2,345	2,585	2,489	5,280	4,834	2,366	-44	2,341	2,255	2,584	199	4,950	155	4,925	4,839
販管費率	55.5%	59.2%	58.3%	62.6%	56.8%	60.9%	53.3%		54.8%	54.6%	59.8%		56.5%		57.3%	57.2%
再掲) 研究開発費	849	799	857	834	1,707	1,633	783	-37	778	775	932	137	1,715	100	1,710	1,707
研究開発費率	17.5%	20.2%	19.3%	21.0%	18.4%	20.6%	17.6%		18.2%	18.7%	21.6%		19.6%		19.9%	20.2%
前同比	<-2.5>		<-22.1>		<-11.9>	<-14.9>	<-19.9>		<27.8>	<42.7>	<14.0>		<17.4>		<24.5>	<32.3>
営業利益	784	650	580	551	1,363	1,201	939	189	946	927	661	-159	1,600	30	1,607	1,588
営業利益率	16.1%	16.4%	13.1%	13.8%	14.7%	15.1%	21.2%		22.1%	22.4%	15.3%		18.3%		18.7%	18.8%
前同比	<6.7>		<-17.1>		<-4.8>	<-8.0>	<14.2>		<20.9>	<35.4>	<10.1>		<12.4>		<18.4>	<26.1>
経常利益	882	733	639	612	1,521	1,345	1,007	207	1,014	992	703	-147	1,710	60	1,717	1,695
経常利益率	18.2%	18.5%	14.4%	15.4%	16.4%	16.9%	22.7%		23.7%	24.0%	16.3%		19.5%		20.0%	20.1%
前同比	<35.3>		<-69.5>		<-10.4>	<-53.8>	<-9.9>		<14.9>	<25.2>	<240.9>		<27.3>		<140.8>	<174.8>
当期純利益	669	458	117	-105	785	353	602	162	593	573	398	-82	1,000	80	991	970
当期利益率	13.8%	11.6%	2.6%	-2.6%	8.5%	4.4%	13.6%		13.9%	13.9%	9.2%		11.4%		11.5%	11.5%

*医薬品事業合計については、2007年度との比較を容易にするために、継続対象としている事業について記載しております。従って、決算上の医薬品事業とは異なります。

【特記事項】

2007年度上半期実績（前期との比較）

【プラス要因】

2007年度は、欧州子会社の第一三共ヨーロッパGmbH（DSE）について決算期の変更（12月期→3月期決算）を行っており、上半期は2007年1月-2007年9月の9ヶ月を計上しております。

その影響額（2007年1月-3月）は、売上高141億円、営業利益18億円、経常利益21億円、純利益20億円であります。

【マイナス要因】

2006年度は、米国子会社2社について決算期の変更（12月期→3月期決算）を行っており、上半期は2006年1月-2006年9月の9ヶ月を計上しております。

その影響額（2006年1月-3月）は、売上高315億円、営業利益90億円、経常利益105億円、純利益58億円であります。

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。2006年度上半期には、連結子会社のうち、和光堂（株）、富士製粉（株）等、2006年度下半期には第一化学薬品（株）、（株）第一ラジオアイソトープ研究所、三共アグロ（株）、目黒化工（株）、三共エール薬品（株）、第一メディカル（株）等が連結除外となりました。2007年度上半期には第一ファインケミカル（株）、埼玉第一製薬（株）等が連結除外となっております。

2007年度業績予想

上半期実績には、当初業績予想には含まれていない非医薬品事業各社の実績が計上されておりますが、引き続きグループ外への自立化に取り組んでおりますので、下半期業績予想に反映していません。

2.為替レート

	2006	
	上半期	年度
円/USD（期中平均）	115.9	117.0
円/EUR（期中平均）	142.2	146.1

	2007	
	上半期実績	下半期予想
		7月公表
	119.3	115
	160.4	155

【為替の影響】

上半期実績

予算レートに対し、1ドル約5円、1ユーロ約20円の円安となったため、**売上高114億円、営業利益12億円**の増収増益要因となりました。

年度業績予想

1円の為替変動によるUSドルベースの売上高への影響は約18億円、営業利益への影響は約3億円と見ております。同様に、ユーロベースの売上高への影響は約5億円、営業利益に対しては軽微な影響と見ております。

3. グローバル製品売上高

(単位：億円)

	2006年度実績				2007年度											
	上半期	下半期	年度	前同比	上半期実績				下半期予想				年度予想			
					対7月公表	前同比	決算期 変更除 前同比	対7月公表	前同比	対7月公表	前同比	決算期 変更除 前同比				
オルメサルタン 【高血圧症治療剤】	840	763	1,603	73.5%	966	11	15.1%	32.1%	1,054	59	38.0%	2,020	70	26.0%	35.2%	
日本：	194	228	422	64.9%	264	-21	36.0%	-	346	1	51.7%	610	-20	44.5%	-	
米国： / HCT*	533	395	928	84.4%	445	5	-16.5%	18.1%	443	13	12.3%	888	18	-4.3%	15.1%	
欧州： / **	101	124	225	53.2%	-	-	-	-	32	5	-	32	5	-	-	
その他	12	16	28	56.2%	223	18	121.6%	58.0%	197	32	58.1%	420	50	86.4%	58.1%	
レボフロキサシン 【合成抗菌剤】	488	553	1,041	2.6%	34	9	189.6%	-	36	8	118.3%	70	17	148.9%	-	
日本：	210	257	467	-6.9%	529	19	8.4%	-	571	1	3.2%	1,100	20	5.6%	-	
輸出等	193	191	384	10.6%	221	-9	5.1%	-	289	-1	12.4%	510	-10	9.1%	-	
特許料	85	104	190	14.4%	216	21	11.9%	-	179	-1	-6.3%	395	20	2.8%	-	
プラバスタチン 【高脂血症治療剤】	520	415	935	-34.7%	92	7	8.6%	-	103	3	-2.0%	195	10	2.8%	-	
日本：	348	330	678	-9.9%	403	-2	-22.4%	-25.5%	387	12	-6.9%	790	10	-15.5%	-17.3%	
欧州**	33	27	60	9.1%	317	-13	-9.0%	-	323	3	-2.0%	640	-10	-5.6%	-	
輸出等	139	59	198	-68.4%	41	4	26.4%	-22.7%	21	-2	-24.2%	62	2	3.4%	-23.4%	
					45	7	-67.7%	-	43	11	-26.8%	88	18	-55.5%	-	

*米国オルメサルタン（製品名：ベニカー）の2006年度実績は、決算期の変更により、2006年1月-2007年3月の15ヶ月分を計上しております。

2006年度上半期は、2006年1月-9月の9ヶ月分を計上しており、1月-3月の実績は、156億円（\$135mil）であります。

**欧州オルメサルタン（製品名：オルメテック）、プラバスタチンの2007年度は、決算期の変更により、2007年1月-2008年3月の15ヶ月分を計上します。

2007年度上半期は、2007年1月-9月の9ヶ月分を計上しており、1月-3月の実績は、オルメサルタン64億円（€40mil）、プラバスタチン16億円（€10mil）であります。

4. 海外売上高

(単位：億円)

	2006年度実績				2007年度											
	上半期	下半期	年度	前同比	上半期実績				下半期予想				年度予想			
					対7月公表	前同比	対7月公表	前同比	対7月公表	前同比						
北米*	1,350	1,069	2,419	32.4%	1,112	122	-17.6%		1,088	38	1.8%	2,200	160	-9.0%		
欧州**	446	397	843	-14.3%	567	37	27.3%		413	43	3.8%	980	80	16.2%		
その他	151	154	305	16.5%	206	76	36.1%		134	4	-12.8%	340	80	11.4%		
海外売上高	1,946	1,621	3,567	16.1%	1,885	235	-3.2%		1,635	85	0.9%	3,520	320	-1.3%		
対売上高比率	40.1%	36.5%	38.4%		42.5%				37.8%			40.2%				

その他：中国、韓国、タイ、台湾、ブラジル、ベネズエラ等

*2006年度は、第一三共INC. (DSI) とルイトポルドファーマシューティカルズInc. (LPI) の2社について決算期の変更（12月期→3月期決算）により、15ヶ月決算となっております。2006年度上半期は、2006年1月-2006年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2006年1月-3月）は、売上高315億円であります。

**2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。2007年度上半期は、2007年1月-2007年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2007年1月-3月）は、売上高141億円であります。

5.セグメント別情報（事業別）

(単位：億円)

	2006			2007	
	上半期	下半期	年度	上半期	前同比
国内医療用医薬品	2,152	2,182	4,334	2,145	-0.3%
海外医療用医薬品*	1,852	1,529	3,381	1,847	-0.3%
ヘルスケア	246	233	479	244	-0.6%
医薬品事業	4,414	3,957	8,371	4,240	-3.9%
その他事業	444	479	924	197	-55.7%
連結売上高	4,858	4,437	9,295	4,437	-8.7%
医薬品事業	759	555	1,314	942	24.1%
その他事業	23	21	44	-4	-
連結営業利益	784	580	1,363	938	20.0%

*2006年度は、第一三共INC. (DSI) とルイトボルドファーマシューティカルズInc. (LPI) の2社について決算期の変更（12月期→3月期決算）により、15ヶ月決算となっております。2006年度上半期は、2006年1月～2006年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2006年1月-3月）は、売上高315億円、営業利益90億円であります。

*2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2007年1月-3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

6.セグメント別情報（所在地別）

(単位：億円)

	2006						2007		
	上半期		下半期		年度		上半期		前同比
		構成比		構成比		構成比	構成比		
日本	3,420	70.4%	3,259	73.5%	6,678	71.9%	2,954	66.6%	-13.6%
北米*	1,085	22.3%	829	18.7%	1,915	20.6%	897	20.2%	-17.4%
欧州**	273	5.6%	261	5.9%	534	5.7%	453	10.2%	66.0%
その他	80	1.6%	88	2.0%	168	1.8%	133	3.0%	66.5%
連結売上高	4,858	100.0%	4,437	100.0%	9,295	100.0%	4,437	100.0%	-8.7%
日本	716		411		1,127		694		
北米	339		34		373		225		
欧州	54		14		68		34		
その他	3		5		8		13		
連結営業利益	784		580		1,363		966		

*2006年度は、第一三共INC. (DSI) とルイトボルドファーマシューティカルズInc. (LPI) の2社について決算期の変更（12月期→3月期決算）により、15ヶ月決算となっております。2006年度上半期は、2006年1月～2006年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2006年1月-3月）は、売上高315億円、営業利益90億円であります。

**2007年度は、第一三共ヨーロッパGmbH (DSE) の決算期を変更（12月期→3月期決算）したため、15ヶ月決算となっております。2007年度上半期は、2007年1月～2007年9月の9ヶ月決算となっております。その影響額（2007年1月-3月）は、売上高141億円、営業利益18億円であります。

7.主要経営指標

	2006年度実績		2007	
	上半期	年度(末)	上半期実績	年度予想
配当性向(連結)	32.7 %	55.7 %	42.1 %	50.5 %
1株当たり利益(EPS)	91.7 円	107.7 円	83.1 円	139.1 円
1株当たり配当金	30.0 円	60.0 円	35.0 円	70.0 円
純資産配当率(DOE)	1.7 %	3.5 %	4.0 %	
自己資本当期純利益率(ROE)	5.3 %	6.3 %	4.8 %	
1株当たり純資産(BPS)	1,756.3 円	1,740.2 円	1,761.9 円	
自己資本比率	78.3 %	77.5 %	83.6 %	
期末発行済株式総数	729,027 千株	729,002 千株	718,983 千株	
期末株価(終値)	3,350 円	3,610 円	3,450 円	
連結子会社数	54 社	54 社	46 社	
連結要員数	18,604 名	15,358 名	15,655 名	
(再掲) 国内要員数	13,678 名	10,379 名	9,635 名	
海外要員数	4,926 名	4,979 名	6,020 名	

8.設備投資および減価償却費

	2006年度実績		2007	
	上半期	年度	上半期実績	年度予想
減価償却費	190 億円	399 億円	188 億円	380 億円
設備投資(工事ベース)	135 億円	315 億円	130 億円	

9.単元株式の所有者別状況

	2006年9月末			2007 3			2007年9月末		
	株主数		所有株式数 構成比	株主数		所有株式数 構成比	株主数		所有株式数 構成比
	(名)	(百万株)		(名)	(百万株)		(名)	(百万株)	
政府及び地方公共団体	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
金融機関	178	341	46.5%	186	347	47.4%	192	343	46.7%
証券会社	40	10	1.4%	58	12	1.8%	65	17	2.4%
その他の法人	593	48	6.6%	647	49	6.7%	653	44	6.0%
外国法人等	600	241	33.0%	638	234	31.9%	614	221	30.2%
個人・その他	49,077	91	12.5%	52,290	89	12.2%	58,079	91	12.5%
自己株式	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	16	2.2%
合計	50,490	733	100.0%	53,821	733	100.0%	59,605	733	100.0%

10.国内の状況

主要医療用医薬品売上高（建値売上高）

（単位：億円）

	2006年度実績				2007年度							
	上半期	下半期	年度	前同比	上半期実績		下半期予想		年度予想			
					対7月公表	前同比	対7月公表	対7月公表	前同比			
国内医療用医薬品売上高（純売上高）	2,061	2,143	4,204	1.8%	2,110	-70	2.4%	2,320	-20	4,430	-90	5.4%
循環器関連疾患領域												
オルメテック【高血圧症治療剤】	194	228	422	65.4%	264	-21	36.0%	346	1	610	-20	44.5%
カルブロック【高血圧症治療剤】	41	47	88	38.0%	48	-12	17.2%	67	-8	115	-20	31.0%
アーチスト【高血圧症治療剤】	96	97	193	5.9%	106	-9	10.2%	114	-1	220	-10	14.0%
メパロチン【高脂血症治療剤】	348	330	678	-9.9%	317	-13	-9.0%	323	3	640	-10	-5.6%
クレメジン【慢性腎不全用剤】	61	61	122	-6.4%	62	-3	1.6%	68	3	130	0	6.7%
ハンブ【急性心不全剤】	42	50	92	5.8%	45	-1	7.8%	55	1	100	0	8.9%
リパロ【高脂血症治療剤】	25	26	51	23.9%	26	-7	6.7%	34	-3	60	-10	16.9%
サンリズム【不整脈治療剤】	59	58	117	-1.3%	62	2	4.5%	58	-2	120	0	2.3%
ベプリコール【不整脈・狭心症治療剤】	11	12	23	25.8%	13	1	18.8%	14	0	27	1	17.3%
ファスティック【血糖降下剤】	27	27	54	0.6%	26	-1	-3.0%	24	-4	50	-5	-7.3%
感染症/骨・関節/免疫・アレルギー/泌尿器												
クラビット【合成抗菌剤】	210	257	467	-6.9%	221	-9	5.1%	289	-1	510	-10	9.1%
ロキソニン【消炎鎮痛解熱剤】	149	160	309	8.0%	164	-6	9.7%	186	6	350	0	13.2%
モービック【消炎鎮痛剤】	54	53	107	0.7%	54	-11	-0.5%	61	1	115	-10	7.8%
ユリーフ【排尿障害改善剤】	11	12	23	-	23	-6	120.9%	52	1	75	-5	231.4%
ジルテック【抗アレルギー剤】	51	69	120	-4.8%	45	0	-11.0%	55	5	100	5	-16.4%
造影剤/癌/消化器												
オムニバーク【造影剤】	164	151	315	-9.1%	159	-21	-2.7%	161	1	320	-20	1.5%
オムニスキャン【MRI用造影剤】	27	25	52	-2.6%	25	-2	-8.5%	23	-5	48	-7	-8.5%
トボテシ注【抗悪性腫瘍剤】	26	28	54	12.1%	31	2	17.8%	29	-2	60	0	10.5%
クレスチン【抗悪性腫瘍剤】	20	18	38	-18.2%	16	-3	-16.9%	16	-2	32	-5	-15.8%
フエロン【天然型インターフェロンβ製剤】	19	21	40	9.6%	19	-5	-1.2%	28	-3	47	-8	17.3%

主要ヘルスケア製品売上高

（単位：億円）

	2006年度実績				2007年度							
	上半期	下半期	年度	前同比	上半期実績		下半期予想		年度予想			
					対7月公表	前同比	対7月公表	対7月公表	前同比			
ヘルスケア売上高（純売上高）	246	233	479	-	244	-16	-0.6%	276	16	520	0	8.4%
ルル類	53	47	100	7.7%	48	-7	-9.5%	59	4	107	-3	6.7%
ガスター10	17	19	36	-	17	0	0.2%	20	-2	37	-2	3.1%
新三共胃腸薬類	14	16	30	2.2%	13	-1	-7.6%	20	0	33	-1	11.7%
バテックス類	11	8	19	-3.5%	18	0	61.4%	14	2	32	2	66.7%
トランシーノ	-	-	-	-	14	-	-	20	-	34	-	-

(単位：億円)

	2006年度		2007年度		備考(06→07増減)
	上半期 実績	2006年度 実績	上半期		
			実績	対前同	
医療用医薬品売上高(純売上高)	2,061	2,110	49		
循環器関連疾患領域					
オルメテック【高血圧症治療剤】	194	264	70		薬物受容体との強固な結合により得られる強力な降圧効果、心血管系疾患をテーマとした血管保護作用が医療現場に浸透しつつあり、市場の成長を大きく上回る拡大。
カルブロック【高血圧症治療剤】	41	48	7		持続的降圧効果、心・腎保護作用における優位性の訴求が奏効し堅調に推移。
アーチスト【高血圧症治療剤】	96	106	10		慢性心不全に唯一効能のあるβ遮断剤として心疾患領域での処方堅調に推移していることに加え、オルメテックおよびカルブロックを併せた情報提供によって高血圧症の処方も順調に拡大。
メバロチン【高脂血症治療剤】	348	317	-31		日本人対象の大規模臨床試験MEGA Studyによるエビデンスや、改訂ガイドラインに基づき適正使用を継続推進。スタンダードスタチン好適患者への処方が拡大するも、後発品や競合品の攻勢により減少。
クレメジン【慢性腎不全用剤】	61	62	1		尿毒症症状改善効果、透析導入遅延効果などを訴求する中で、CKD(慢性腎臓病)診療ガイドにおいて重度の患者に対する経口吸着薬(クレメジン等)の処方が推奨されたことも追い風となり新規処方拡大。
ハンパ【急性心不全剤】	42	45	3		急性心不全治療における第一選択薬としての高い有用性が浸透。新規処方拡大。
リバロ【高脂血症治療剤】	25	26	1		スタチンのバイオアーマーメーカーとしてメバロチンとともに脂質異常症に対する適切な薬物治療提案により処方は拡大。
サンリズム【不整脈治療剤】	59	62	3		エビデンスやガイドラインに基づき、心房細動のリズムコントロールに対する第一選択薬として継続的に伸長。
ベプリコール【不整脈・狭心症治療剤】	11	13	2		他剤無効例や難治例に対する治療ニーズは高い。一方で、安全性を担保するための情報および適正使用情報の提供を推進。
ファスティック【血糖降下剤】	27	26	-1		グリニド製剤2製品4ブランドで構成されるグリニド製剤市場において、前同を僅かながら下回るもトップシェアを維持。
感染症/骨・関節/免疫・アレルギー/泌尿器					
クラビット【合成抗菌剤】	210	221	11		標的市場は前同を下回ったものの、高い安全性と強い抗菌力、幅広い適応菌種を兼ね備えたキノロン製剤としてクラビットは継続拡大。
ロキソニン【消炎鎮痛解熱剤】	149	164	15		強さ・速さ・安全性のバランスの取れた製品特性と高いブランド力が奏効し、発売20年以上経過した今も処方が拡大。ロキソニンパップも投与制限解除を経て順調に処方を拡大。
モービック【消炎鎮痛剤】	54	54	0		競合品となるCOX-2阻害剤が発売されたが、ロキソニンとの製品間シナジーによって前同を維持。
ユリーフ【排尿障害改善剤】	11	23	12		優れた自・他覚症状改善効果を市場に訴求し、投与制限解除以降も順調に売上を拡大。
ジルテック【抗アレルギー剤】	51	45	-6		アレルギー性鼻炎や蕁麻疹領域などで処方を確保したものの、多くの後発品が上市され減収。
造影剤/癌/消化器					
オムニパーク【造影剤】	164	159	-5		包括医療による後発品処方の拡大などにより減収。
オムニスキャン【MRI用造影剤】	27	25	-2		ガドリニウム系MRI用造影剤に関する安全性強化の観点から添付文書の改訂を行い適正使用情報の提供活動を徹底。
トボテシン注【抗悪性腫瘍剤】	26	31	5		エビデンスに基づく有用性訴求が奏効し、多様な薬物療法メニューへの組み入れが伸長。
クレスチン【抗悪性腫瘍剤】	20	16	-4		後発品を含む免疫療法の縮小により減収。
フェロン【天然型インターフェロンβ製剤】	19	19	0		低下しているインターフェロン製剤市場の中で、唯一C型代償性肝硬変に対する適応がある製剤として処方を維持。9月にC型慢性肝炎に関する抗ウイルス薬リパビリンとの併用療法について承認申請。

(単位：億円)

	2006年度		2007年度		備考(06→07増減)
	上半期 実績	2006年度 実績	上半期		
			実績	対前同	
ヘルスケア売上高(純売上高)	246	244	-2		
ルル類	53	48	-5		店頭消化は順調に推移したものの、総合感冒薬市場が低迷していることに加え、昨年8月に『ルルアタックIB』を新発売した反動もあり減収。
ガスター10	17	17	0		口中溶解タイプの『ガスター10S錠』の定着などにより前年同期並みの売上を維持。
新三共胃腸薬類	14	13	-1		店頭消化は順調に推移したものの、胃腸薬市場が低迷する中で売上は微減。
パテックス類	11	18	7		近年伸張が著しいフェルピナク市場に『パテックスフェルピナク』シリーズ3品(5・35・シップ)を新発売し、大幅増収に貢献。
トランシーノ	-	14	14		大型化が期待される新効能医薬品として9月に発売後、肝斑(かんぱん)の啓発活動などにより店頭での新市場を創造。

主要輸出製品売上高（建値売上高）

（単位：億円）

	2006年度実績			
	上半期	下半期	年度	前同比
レボフロキサシン【合成抗菌剤】	163	161	324	9.6%
プラバスタチン【高脂血症治療剤】	148	68	216	-66.6%

2007年度								
上半期実績			下半期予想		年度予想			
	対7月公表		対7月公表	対7月公表	対7月公表		前同比	
	前同比							
	171	16	5.0%	149	-6	320	10	-1.1%
	33	2	-77.7%	27	10	60	12	-72.2%

11. 海外の状況

米子会社 - 主要製品売上高（純売上高）

（単位：億円）

	2006年度実績			
	上半期	下半期	年度	前同比
第一三共INC. (DSI)	736	568	1,304	70.3%
ベニカー / ベニカーHCT	533	395	928	84.4%
【高血圧症治療剤】 (mil USD)	(460)	(333)	(793)	73.9%
エイゾール	-	-	-	-
【高血圧症治療剤】 (mil USD)	-	-	-	-
ウェルコール	131	101	232	56.8%
【高脂血症治療剤】 (mil USD)	(113)	(85)	(198)	48.1%
フロキシソティック	45	37	82	33.8%
【耳科用抗菌剤】 (mil USD)	(39)	(32)	(71)	29.7%
エボザック	13	16	29	22.5%
【口腔乾燥症状改善剤】 (mil USD)	(11)	(14)	(25)	18.7%
ルイトネ® ルド® ファーマシューティカス Inc. (LPI)	350	260	610	54.5%
ヴェノファア	206	171	377	66.7%
【貧血治療剤】 (mil USD)	(178)	(144)	(322)	57.1%

2007年度								
上半期実績			下半期予想		年度予想			
	対7月公表		対7月公表	対7月公表	対7月公表		前同比	
	前同比							
	651	31	-11.6%	659	19	1,310	50	0.4%
	445	5	-16.5%	443	13	888	18	-4.3%
	(373)	(-8)	-18.9%	(383)	(5)	(756)	(-3)	-4.6%
	-	-	-	32	5	32	5	-
	-	-	-	(28)	(5)	(28)	(5)	-
	114	14	-13.1%	126	1	240	15	3.4%
	(96)	(7)	-15.6%	(109)	(2)	(205)	(9)	3.5%
	54	-1	21.2%	11	-24	65	-25	-21.2%
	(45)	(-3)	17.7%	(9)	(-21)	(54)	(-24)	-24.1%
	21	6	60.8%	17	0	38	6	29.1%
	(18)	(5)	56.2%	(14)	(-1)	(32)	(4)	28.6%
	246	46	-29.6%	224	24	470	70	-23.0%
	148	48	-28.4%	137	27	285	75	-24.4%
	(124)	(35)	-30.4%	(121)	(26)	(245)	(61)	-23.9%

決算期変更除	
前同比	
上半期	年度
20.4%	18.1%
18.1%	15.1%
14.8%	15.0%
-	-
-	-
23.8%	24.3%
20.3%	24.8%
-	-
-	-
7.1%	-4.2%
7.6%	-7.5%
4.6%	-6.7%

ベニカー/ベニカーHCT、ウェルコール、ヴェノファアの2006年度実績は、2006年1月-2007年3月の15ヶ月の実績となっております。

（2006年1-3月実績）：ベニカー/ベニカーHCT 156億円（\$135mil）、ウェルコール 39億円（\$33mil）、ヴェノファア 68億円（\$59mil）

欧州子会社 - 主要製品売上高（純売上高）

（単位：億円）

	2006年度実績			
	上半期	下半期	年度	前同比
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	267	249	516	17.8%
オルメテック / オルメテックプラス	101	124	225	53.2%
【高血圧症治療剤】 (mil EURO)	(71)	(83)	(154)	44.1%
メバロチン	33	27	60	9.1%
【高脂血症治療剤】 (mil EURO)	(23)	(18)	(41)	2.6%

2007年度								
上半期実績			下半期予想		年度予想			
	対7月公表		対7月公表	対7月公表	対7月公表		前同比	
	前同比							
	453	53	71.1%	317	27	770	80	49.1%
	223	18	121.6%	197	32	420	50	86.5%
	(139)	(-8)	96.5%	(127)	(9)	(266)	(1)	72.7%
	41	4	26.4%	21	-2	62	2	3.4%
	(26)	(-1)	12.1%	(13)	(-2)	(39)	(-3)	-4.5%

決算期変更除	
前同比	
上半期	年度
17.7%	21.7%
58.0%	58.1%
39.9%	46.7%
-22.7%	-23.4%
-31.6%	-29.0%

オルメテック/オルメテックプラス、メバロチンの2007年度上半期実績は、2007年1月-2007年9月の9ヶ月の実績となっております。

（2007年1-3月実績）：オルメテック/オルメテックプラス 64億円（€40mil）、メバロチン 16億円（€10mil）

(単位：億円)

	2006年度	2007年度		備考(06→07増減)
	上半期	上半期		
	実績	実績	対前同	
レボフロキサシン【合成抗菌剤】	163	171	8	欧・米ともに現地消化は引き続き堅調に推移。
プラバスタチン【高脂血症治療剤】	148	33	-115	欧米主要国における特許満了により減少。

(単位：億円)

	2006年度	2007年度		備考(06→07増減)
	上半期	上半期		
	実績	実績	対前同	
第一三共INC. (DSI)	736	651	-85	
ベニカー/ベニカーHCT 【高血圧症治療剤】 (mil USD)	533 (460)	445 (373)	-88 (-87)	米国子会社決算期変更の影響を除外した実質比較では+69億円(+48mil USD) 市場の拡大に加え、プロモーションの積極展開、製品特性の浸透等により成長持続。
エイゾール 【高血圧症治療剤】 (mil USD)	- -	- -	- -	強化された営業体制によって10月より販促を開始。 (フォレスト・ラボラトリーズ社と共同販促)
ウェルコール 【高脂血症治療剤】 (mil USD)	131 (113)	114 (96)	-17 (-17)	米国子会社決算期変更の影響を除外した実質比較では+22億円(+16mil USD) プロモーション数増加により増収基調を堅持。
フロキシシオティック 【耳科用抗菌剤】 (mil USD)	45 (39)	54 (45)	9 (6)	10月にジェネリックが発売されたことから今後の販売動向を注視。
エボザック 【口腔乾燥症状改善剤】 (mil USD)	13 (11)	21 (18)	8 (7)	シェーグレン症候群の認知度も向上し一般開業医での処方も拡大。
ライト・ルト [®] ファーマシューティカルズ Inc. (LPI)	350	246	-104	
ヴェノファー 【貧血治療剤】	206 (178)	148 (124)	-58 (-54)	米国子会社決算期変更の影響を除外した実質比較では+10億円(+5mil USD) 後発品が上市されなかったこともあり、前年同期並の売上を維持。

ベニカー/ベニカーHCT、ウェルコール、ヴェノファーの2006年度実績は、2006年1月-2007年3月の15ヶ月の実績となっております。

(2006年1-3月実績)：ベニカー/ベニカーHCT 156億円 (\$135mil)、ウェルコール 39億円 (\$33mil)、ヴェノファー 68億円 (\$59mil)

(単位：億円)

	2006年度	2007年度		備考(06→07増減)
	上半期	上半期		
	実績	実績	対前同	
第一三共ヨーロッパGmbH (DSE)	267	453	186	
オルメテック/オルメテックプラス 【高血圧症治療剤】 (mil EURO)	101 (71)	223 (139)	122 (68)	欧州子会社決算期変更の影響を除外した実質比較では+58億円(+28mil EURO) 単剤が堅調に推移していることに加え、配合剤が主要国に出揃ったこともあり伸長持続。
メバロチン 【高脂血症治療剤】 (mil EURO)	33 (23)	41 (26)	8 (3)	欧州子会社決算期変更の影響を除外した実質比較では-7億円(-7mil EURO) 自社販売、ジェネリックメーカーへの販売とも減少。

オルメテック/オルメテックプラス、メバロチンの2007年度上半期実績は、2007年1月-2007年9月の9ヶ月の実績となっております。

(2007年1-3月実績)：オルメテック/オルメテックプラス 64億円 (€40mil)、メバロチン 16億円 (€10mil)

12.連結財務諸表

連結貸借対照表<資産の部>

(単位：億円)

	2007.3.31		2007.9.30		増減	増減内容
		構成比 (%)		構成比 (%)		
流動資産	10,158	62.1	9,449	62.3	-709	
現金及び預金	1,726		639		-1,087	----- 手元流動性（現預金＋有価証券＋投資有価証券他）
受取手形及び売掛金	1,972		1,908		-64	合計 6,526億円（対07年末 -551億円）
有価証券	4,489		4,905		416	【内容】当期利益＋602億円、配当金支払-219億円
たな卸資産	1,078		1,051		-27	自己株式取得-332億円、未払金等支払-670億円等
繰延税金資産	634		600		-34	
その他	268		355		87	
貸倒引当金	-7		-8		-1	
固定資産	6,210	37.9	5,710	37.7	-500	
有形固定資産	2,489	15.2	2,404	15.9	-85	
建物及び構築物	1,425		1,408		-17	
機械装置及び運搬具	400		358		-42	----- 子会社の連結除外*による減少
土地	380		366		-14	
建設仮勘定	120		112		-8	
その他	163		160		-3	
無形固定資産	602	3.7	538	3.5	-64	
のれん	186		168		-18	
その他	416		370		-46	
投資その他の資産	3,120	19.0	2,767	18.3	-353	
投資有価証券	2,622		2,459		-163	----- 時価評価差益の減少
長期貸付金	16		15		-1	
前払年金費用	180		37		-143	----- 退職給付制度の変更に伴う減少（退職給付引当金との相殺）
繰延税金資産	89		60		-29	
その他	216		201		-15	
貸倒引当金	-4		-3		1	
資産合計	16,368	100.0	15,158	100.0	-1,210	

*子会社の連結除外

当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
 2006年度においては、連結子会社のうち、上半期に和光堂（株）、富士製粉（株）、下半期に第一化学薬品（株）、（株）第一ラジオアイソトープ研究所、三共アグロ（株）、目黒化工（株）、三共エール薬品（株）、第一メディカル（株）等が連結除外となりました。
 2007年度においては、第一ファインケミカル（株）、埼玉第一製薬（株）等が連結除外となりました。

連結貸借対照表<負債の部>

(単位：億円)

	2007.3.31		2007.9.30		増減	増減内容
		構成比 (%)		構成比 (%)		
	3,647	22.3	2,455	16.2	-1,192	
流動負債	2,815	17.2	1,886	12.4	-929	
支払手形及び買掛金	564		495		-69	----- 子会社の連結除外による減少
短期借入金	86		46		-40	
未払法人税等	276		191		-85	
返品調整引当金	13		11		-2	
売上割戻引当金	25		33		8	
偶発損失引当金	35		22		-13	
その他	1,817		1,088		-729	----- 転籍一時金支払いに伴う減少 (2006年度末未払金計上)
固定負債	832	5.1	570	3.8	-262	
長期借入金	15		14		-1	
繰延税金負債	361		339		-22	
退職給付引当金	351		105		-246	----- 退職給付制度の変更に伴う減少 (前払年金費用との相殺)
役員退職慰労引当金	10		4		-6	
土壌浄化対策引当金	40		25		-15	
その他	54		83		29	
純資産	12,721	77.7	12,703	83.8	-18	
株主資本	11,913	72.8	11,994	79.1	81	
資本金	500		500		0	
資本剰余金	1,799		1,799		0	
利益剰余金	9,715		10,129		414	----- 利益剰余金の増加 +414億円 <変動要因> 当期利益 +602億円 配当 -219億円
自己株式	-100		-434		-334	----- 自己株式取得 10,000千株 332億円
評価・換算差額等	773	4.7	674	4.5	-99	
其他有価証券評価差額金	724		625		-99	
為替換算調整勘定	50		50		0	
少数株主持分	35	0.2	35	0.2	0	
負債純資産合計	16,368	100.0	15,158	100.0	-1,210	

連結損益計算書

(単位:億円)

	2006年度		2007年度		増減	増減内容
	中間期	構成比 (%)	中間期	構成比 (%)		
売上高	4,858	100.0	4,437	100.0	-421	----- 欧米 (06年度:米、07年度:欧) 決算期変更に伴う影響額 <u>-174億円</u> グループ外自立化対象としている事業の縮小 <u>-421億円</u> オルメサルタン等主力製品を中心に売上が拡大 <u>+174億円</u>
売上原価	1,380	28.4	1,132	25.5	-248	----- 原価率 <u>-2.9P</u> 高原価率である非医薬事業子会社を連結除外した一方、オルメサルタン等の低原価製品比率が向上
売上総利益	3,478	71.6	3,305	74.5	-173	
販売費及び一般管理費	2,695	55.5	2,366	53.3	-329	----- 非医薬事業のグループ外自立化に伴う減少 <u>-151億円</u>
広告宣伝費及び販売促進費	518		506		-12	----- 欧米決算期変更に伴う影響額 <u>-88億円</u>
給料・賞与及び手当	542		468		-74	----- 国内要員適正化に伴う減少等
退職給付費用	37		-		-37	
研究開発費	849		783		-66	----- 国内要員適正化に伴う減少等
その他	747		609		-138	----- 減価償却費、賃借料等の減少
営業利益	784	16.1	939	21.2	155	
営業外収益	115	2.4	87	1.9	-28	
受取利息	40		44		4	
受取配当金	26		20		-6	
金融派生商品収益	23		0		-23	
営業外費用	17	0.3	19	0.4	2	
経常利益	882	18.2	1,007	22.7	125	
特別利益	245	5.0	40	0.9	-205	
固定資産売却益	16		13		-3	
関係会社株式処分益	206		23		-183	----- 非医薬品事業のグループ外化に伴う子会社売却益の減少 (2007年度 第一ファインケミカル、埼玉第一製薬等)
投資有価証券売却益	7		3		-4	
過年度研究開発費精算益	16		-		-16	
特別損失	143	3.0	67	1.5	-76	
固定資産処分損	16		8		-8	
事業統合関連損失	78		40		-38	----- 海外事業統合関連費用等の統合関連費用の減少
事業再編関連損失	19		6		-13	(2007年度 システム開発費用 <u>18億円</u> 、 拠点統廃合関連 <u>7億円</u>)
偶発損失引当金繰入額	0		8		8	
税金等調整前当期純利益	984	20.2	980	22.1	-4	
法人税、住民税及び事業税等	314	6.4	377	8.5	63	----- 法人税率 31.9%→38.5%
少数株主利益	1	0.0	0	0.0	-1	2006
当期純利益	669	13.8	602	13.6	-67	

*子会社の連結除外



当社は医薬品事業への集中を図るため、非医薬品事業のグループ外自立化を進めてきました。
2006年度においては、連結子会社のうち、上半期に和光堂(株)、富士製粉(株)、下半期に第一化学薬品(株)、(株)第一ラジオアイソトープ研究所、三共アグロ(株)、目黒化工(株)、三共エール薬品(株)、第一メディカル(株)等が連結除外となりました。
2007年度においては、第一ファインケミカル(株)、埼玉第一製薬(株)等が連結除外となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)


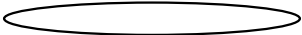
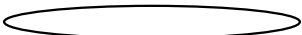
	2006年度 中間期	2007年度 中間期	増減	増減内容
税金等調整前中間(当期)純利益	984	980	-4	
減価償却費	197	188	-9	
退職給付引当金の増減額	-5	-246	-241	} 制度変更に伴う前払年金との相殺および 確定拠出年金制度への移管に伴う未払振替等
前払年金費用の増減額	4	143	139	
売上債権の増減額	55	46	-9	
たな卸資産の増減額	46	-7	-53	
仕入債務の増減額	-52	-81	-29	
未払金及び未払費用の増減額	8	-650	-658	} 要員適正化や機能子会社への転籍に伴う 退職金未払等の支払い
その他	-89	-73	16	
法人税等の支払額	-451	-368	83	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	697	-68	-765	
短期運用資産の増減額	-61	89	150	
固定資産の取得・売却等	-106	-127	-21	
投資有価証券の増減額	-148	-30	118	
貸付金の増減額	3	7	4	
新規連結子会社の株式取得	-272	-	272	---- 06年度:ゼファーマ株式取得
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	249	88	-161	} 06年度:和光堂等 07年度:第一ファインケミカル、埼玉第一製薬等
その他	9	29	20	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	-327	56	383	
借入金の増減額	-42	-42	0	
自己株式の取得による支出	-1	-334	-333	---- 07年度:10百万株取得(332億円)
配当金の支払額	-182	-219	-37	---- 1株当たり5円増配
その他	-7	-1	6	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	-232	-595	-363	
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-1	-3	
V 現金及び現金同等物の増減額	140	-608	-748	
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,010	5,132	1,122	
VII 連結範囲の変更による増減額	9	5	-4	
VIII 非連結子会社との合併に伴う増加額	-	10	10	
IX 現金及び現金同等物の期末残高	4,158	4,539	381	

13.開発パイプラインの状況

		Phase1	Phase2
	Mevalotin Benicar/Olmetec Azor WeiChol	DZ-697b(/ /) HGF (/) <u>DB-772d(/ /)</u> <u>Xa</u>	DU-176b(/ /) Xa HGF (/) SUN 4936h(/ /) (/) CS-866RN() CS-866CMB() () CS-747()
		(SUN E7001() /) AJD101 /	CS-917(/ /) CS-011 <u>AJD101</u>
	Levaquin/Tavanic Banan	DC-159a(/) DX-619(/ /) CS-758(/)  → CS-8958(/) /	DU-6859a inj() / CS-023(/ /) CS-8958()
	Camptosar	CS-7017(/) (PPAR)  → DE-766 / EGFR	CS-1008(/) DR5
		CS-0777(/) ()	CS-712() ()
			CS-706(/) COX-2 SUN E3001() /
	Venofer Evoxac	SUN N8075(/) /	SUN N4057(/) CS-088(/ /) / SUN11031() SUN11031(/)

2007 7

DB-772d / AJD101 SUN 0588r
 CS-8663 CS-8663 CS-8958 CS-1008 / CS-1401E SUN 0588r
 CS-866RN [Phase2
 CS-917 / []
 CS-712 []
 CS-706 / []

Phase3	/
<p>CS-747(/)</p> <p>HGF ()</p> <p> →</p> <p>CS-866DM()</p> <p>CS-866AZ()</p>	<p>(CS-8663() /</p> <p>(CS-8663() /</p>
<p>CS-011(/)</p>	<p>WeiChol DM()</p> <p>(/)</p>
<p>SUN A0026()</p> <p>/</p> <p>(</p>	<p>DF-098()</p> <p>(Hib /</p> <p>(DU-6859a oral()</p> <p>/ /</p>
<p>AMG162 / RANKL /</p> <p>P3 P2</p> <p>CS-600G()</p>	<p>- () / /</p>
<p>(SUN Y7017()</p> <p> →</p> <p> →</p> <p>KMD-3213()</p> <p>(</p>	<p>(CS-1401E()</p> <p>/)</p> <p>SUN 0588(/)</p> <p>/ /</p> <p>DL-8234()</p> <p>/C / /</p>

第一三共グループ 開発パイプライン (1)

	CS-747			/	
		HG		/	MG
	DU-176			/	
	CS-8663			/	
	CS-866DM			/	
	CS-866AZ			/	
	CS-866CMB			/	
	SUN 4936h			/	
	CS-011			/	
	AJD101			/	
	WeiChai DM			/	

	MG	()	(HGF:Hepatocyte Growth Factor) () MG MG
			Xa
		(07.09)	Ca Azor
		(07.09)	
			ORIENT
			Ca
			2003 9 2005 6
			1995
			PPAR
		(06.12)	2 HbA1c

第一三共グループ 開発パイプライン (2)

	D -098	b		b	()
	DU-6859a			/	
	CS-023			/	
	CS-8958				
				/	
				/	
	SUN A0026			/	
	CS-1008			DR5	
	AVG162			/	
				/	
	LX-P				
	CS-600G				
	SUN E3001				
	SUN Y7017			NVDA /	
	SUN N4057			1A /	
	KMD- 3213				/
	SUN11031				
	CS-088			/	
	D - 8234				
	CS-1401E				
	SUN 0588r				

	/		
		07.01	() Hib 2007 1 26 2008 3 4
		(06.09)	
			1 1
			1 100mg 200mg 1 2 3 1 500mg 1 1
			1997 2005 12 FDA 4 2006 10 FDA 2007 2 FDA
			DR5 DR5(Death Receptor 5)
			RANK
		(07.02)	
			PTH [hPTH(1-34)]
			NVDA
			Phase3
			1A
			A A
		(07.09)	
		(07.08)	
		(07.05)	BH4 BH4
		(07.03)	2007 5



(3)

(1)

(2)